

講義名:	新入生研修 I	講義時間数: 24時間	受講コース名: 全コース
担当:	小童 望未	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	ビジネス知識や社会人マナー、問題発見力、発信力など、社会人に必要な能力の基礎を身に付ける。座学だけではなく、グループディスカッションや掃除実践などの活動を通して、準社会人としての意識を身に付ける。		
到達目標:	「前に踏み出す力(アクション)」「考え抜く力(シンキング)」「チームで働く力(チームワーク)」の3つの能力を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	4/5(水) AM:5つの約束、共通ルール説明/PM:姿勢・挨拶実践、声出しなど(6時間)		
2回目	4/6(木) AM:明元素についてのディスカッションおよび実践/PM:掃除実践(6時間)		
3回目	4/7(金) AM:ケーススタディ研修/PM:研修スタッフスピーチ、新入生スピーチ原稿作成(6時間)		
4回目	4/8(月) AM:「夢」スピーチ実践/PM:入学式リハーサル、学科別研修(6時間)		
授業教材等:			

講義名:	新入生研修Ⅱ	講義時間数: 16時間	受講コース名: 全コース
担当:	小童 望未	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	ビジネス知識や社会人マナー、問題発見力、発信力など、社会人に必要な能力の基礎を身に付ける。座学だけではなく、グループディスカッションや掃除実践などの活動を通して、準社会人としての意識を身に付ける。		
到達目標:	4月に行った「新入生研修Ⅰ」の内容を継続的に行い、準社会人としての意識を持つ。「新入生研修Ⅰ」での実践内容や学習したマインドについて、定期的に振り返り、徹底して身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	4/17(月) 卒業生講話(2時間)		
2回目	4/18(火) 教員による講話(2時間)		
3回目	4/19(水) 課外活動(2時間)		
4回目	4/20(木) 新入生研修の振り返り作成(2時間)		
5回目	4/21(金) 新入生歓迎会(2時間)		
6回目	5/15(月) 定期研修①(2時間)		
7回目	7/10(月) 定期研修②(2時間)		
8回目	9/11(月) 定期研修③(2時間)		
授業教材等:			

講義名:	学科研修 I A	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志・小童 望未	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	公務員学科学生として、公務員試験に合格し、その先で活躍する人財になるための日々の在り方について考える。年に数回、高校の恩師に向け近況報告書を作成・送付する。		
到達目標:	チームでの教え合いを通して、コミュニケーション力、献身的な考え方を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	学科研修(セルフマネジメントとは)		
2回目	学科研修(基礎力診断テスト)		
3回目	学科研修(学科内ケーススタディ・履修状況報告書)		
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	セルフマネジメント I A①	講義時間数: 91時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 6単位	学年: 1年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	判断推理 I A①	講義時間数: 46時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 3単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めれば いいかなどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュ ニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション	17回目	順次順序(講義・演習)
2回目	対応関係(講義・演習)	18回目	順次順序(講義・演習)+確認テスト
3回目	対応関係(講義・演習)+確認テスト	19回目	順次順序(講義・演習)
4回目	対応関係(講義・演習)	20回目	順次順序(講義・演習)+確認テスト
5回目	対応関係(講義・演習)+確認テスト	21回目	順次順序(講義・演習)
6回目	試合と勝敗(講義・演習)	22回目	単位認定試験対策 復習
7回目	試合と勝敗(講義・演習)+確認テスト	23回目	単位認定試験
8回目	試合と勝敗(講義・演習)	24回目	
9回目	試合と勝敗(講義・演習)+確認テスト	25回目	
10回目	順次順序(講義・演習)	26回目	
11回目	順次順序(講義・演習)+確認テスト	27回目	
12回目	順次順序(講義・演習)	28回目	
13回目	順次順序(講義・演習)	29回目	
14回目	順次順序(講義・演習)+確認テスト	30回目	
15回目	順次順序(講義・演習)	31回目	
16回目	順次順序(講義・演習)+確認テスト	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント、公務員ゼミナール(判断推理)		

講義名:	判断推理 I A②	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めれば いいかなどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュ ニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	位置関係(講義・演習)	17回目	
2回目	位置関係(講義・演習)+確認テスト	18回目	
3回目	位置関係(講義・演習)	19回目	
4回目	位置関係(講義・演習)	20回目	
5回目	位置関係(講義・演習)+確認テスト	21回目	
6回目	方位(講義・演習)	22回目	
7回目	方位(講義・演習)+確認テスト	23回目	
8回目	方位(講義・演習)	24回目	
9回目	方位(講義・演習)+確認テスト	25回目	
10回目	うそとホント(講義・演習)	26回目	
11回目	うそとホント(講義・演習)+確認テスト	27回目	
12回目	命題(講義・演習)	28回目	
13回目	命題(講義・演習)	29回目	
14回目	命題(講義・演習)+確認テスト	30回目	
15回目	単位認定試験対策 復習	31回目	
16回目	単位認定試験	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント、公務員ゼミナール(判断推理)		

講義名:	数的処理 I A①	講義時間数: 34時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	平岡 成一	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合) 日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。		
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	ガイダンス(数的処理の勉強のやり方)	17回目	単位認定試験
2回目	対比:授業プリントによる講義・演習	18回目	
3回目	対比:授業プリントによる講義・演習	19回目	
4回目	対比:授業プリントによる講義・演習	20回目	
5回目	対比:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し	21回目	
6回目	割合:授業プリントによる講義・演習	22回目	
7回目	割合:授業プリントによる講義・演習	23回目	
8回目	割合:授業プリントによる講義・演習	24回目	
9回目	食塩水:授業プリントによる講義・演習	25回目	
10回目	食塩水:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し	26回目	
11回目	食塩水:グループによるチーム学習	27回目	
12回目	食塩水:グループによるチーム学習	28回目	
13回目	食塩水:授業プリントによる講義・演習	29回目	
14回目	食塩水:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し	30回目	
15回目	仕事算:授業プリントによる講義・演習	31回目	
16回目	仕事算:授業プリントによる講義・演習・確認テスト・直し	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	数的処理 I A②	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	平岡 成一	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合) 日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。		
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	速さ【基礎】授業プリントによる講義・演習		
2回目	速さ【基礎】授業プリントによる講義・演習		
3回目	速さ【基礎】授業プリントによる講義・演習		
4回目	速さ【旅人算】授業プリントによる講義・演習		
5回目	速さ【旅人算】授業プリントによる講義・演習		
6回目	速さ【旅人算】授業プリントによる講義・演習		
7回目	速さ【通過算】授業プリントによる講義・演習		
8回目	速さ【通過算】授業プリントによる講義・演習		
9回目	速さ【通過算】授業プリントによる講義・演習		
10回目	速さ【流水算】授業プリントによる講義・演習		
11回目	速さ【流水算】授業プリントによる講義・演習		
12回目	速さ【流水算】授業プリントによる講義・演習		
13回目	速さ【時計算】授業プリントによる講義・演習		
14回目	速さ【時計算】授業プリントによる講義・演習		
15回目	速さ【総合演習】授業プリントによる講義・演習		
16回目	単位認定試験		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	政治経済 I A①	講義時間数:	46時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	小童 望未	単位数:	3単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期		
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目		
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:		
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。 授業時間内に確認テスト、放課後に再テスト、再々テストを実施。				
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングを行う。				
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに関する自らの意見を持つ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし、解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	日本国憲法①	17回目	内閣①		
2回目	日本国憲法②	18回目	内閣②		
3回目	日本国憲法③、確認テスト	19回目	内閣③		
4回目	基本的人権①	20回目	内閣④		
5回目	基本的人権②	21回目	復習		
6回目	基本的人権③、確認テスト	22回目	復習		
7回目	需給曲線①	23回目	第1回 単位認定試験		
8回目	需給曲線②	24回目			
9回目	需給曲線③、確認テスト	25回目			
10回目	市場経済①	26回目			
11回目	市場経済②	27回目			
12回目	市場経済③	28回目			
13回目	国会①	29回目			
14回目	国会②	30回目			
15回目	国会③	31回目			
16回目	国会④、確認テスト	32回目			
授業教材等:	オリジナルプリント、『オープンセサミシリーズ 公務員 政治・経済・社会』				

講義名:	政治経済 I A②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。 授業時間内に確認テスト、放課後に再テスト、再々テストを実施。		
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングを行う。		
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに関する自らの意見を持つ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし、解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	裁判所①		
2回目	裁判所②		
3回目	裁判所③、確認テスト		
4回目	景気変動①		
5回目	景気変動②、確認テスト		
6回目	金融政策①		
7回目	金融政策②		
8回目	金融政策③		
9回目	金融政策④、確認テスト		
10回目	財政政策①		
11回目	財政政策②		
12回目	財政政策③		
13回目	財政政策④、確認テスト		
14回目	復習		
15回目	第2回単位認定試験		
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント、『オープンセサミシリーズ 公務員 政治・経済・社会』		

講義名:	模擬試験 I A①	講義時間数: 75時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	後田 祥吾	単位数: 5単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験:	
追試験実施:	無		
備考:	日々学んだものを模擬試験を通して習熟度を確認。定期的に行うことで自分の成長度を図ることができ弱点克服にも活用することができる。(7月末には総合模擬試験を実施し、公務員試験を想定した内容で力を試す。)		
講義概要:	公務員試験の教養模擬試験(45問、100分、マークシート方式)および適性試験(120問、20分、マークシート方式)を行う。		
到達目標:	公務員試験受験に向けて実践的な訓練を積む。 学生が目標を持ち、計画的に目標達成する習慣を作るとともに復習を含めた学習習慣を作る。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	公務員試験教養模擬試験(45問100分、マークシート方式)		
	適性試験(120問20分、マークシート方式)		
授業教材等:	公務員試験過去問題集		

講義名:	業界研究 I A①/TKP I A①	講義時間数: 46時間	受講コース名: 公務員ビジネス	
担当:	服部 成志・安廣 啓示	単位数: 3単位	学年: 1年	
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期	
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:	
追試験実施:	無			
備考:	フィールドワーク、官庁訪問など学外に出て活動あり TKP…外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業			
講義概要:	業界研究…希望する官庁、企業およびその業界について研究し、職業知識を深めると同時に自身の職業観、就職後のビジョンについて考える。 TKP…県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーする。			
到達目標:	業界研究…目指す業界、職業について正しい知識を身につけ、現状を理解したうえで自身のビジョンをもつ。業界の特性や求められる資質を理解することで、ミスマッチを減らす。 TKP…岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけではなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。			
講義スケジュール(変更の可能性有り)				
1回目	探求活動・業界研究導入	17回目	業界研究・プレゼン資料作成	
2回目	テーマ設定・行動計画	18回目	業界研究・プレゼン資料作成	
3回目	業界研究・プレゼン資料作成	19回目	業界研究・プレゼン資料作成	
4回目	業界研究・プレゼン資料作成	20回目	業界研究・プレゼン資料作成	
5回目	業界研究・プレゼン資料作成	21回目	業界研究・プレゼン資料作成	
6回目	業界研究・プレゼン資料作成	22回目	最終発表	
7回目	業界研究・プレゼン資料作成	23回目	最終発表	
8回目	業界研究・プレゼン資料作成	24回目		
9回目	業界研究・プレゼン資料作成	25回目		
10回目	業界研究・プレゼン資料作成	26回目	※TKP…4/30(日)造山古墳 祭り参加気球飛行のお手伝い 10月に2回目の気球飛行を計 画。古墳ボランティア養成	
11回目	業界研究・プレゼン資料作成	27回目		
12回目	業界研究・プレゼン資料作成	28回目		
13回目	中間発表	29回目		
14回目	中間発表	30回目		
15回目	業界研究・プレゼン資料作成	31回目		
16回目	業界研究・プレゼン資料作成	32回目		
				33回目
				34回目
			35回目	
			36回目	
			37回目	
			38回目	
			39回目	
			40回目	
			41回目	
			42回目	
			43回目	
			44回目	
			45回目	
			46回目	
			47回目	
			48回目	
授業教材等:				

講義名:	パソコン基礎 I A	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	木口 万理子・後田 祥吾	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記・実技)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)	実務経験: IT業界勤務8年・学園内のPC運用5年	
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	授業・単位認定試験共にパソコン必須。		
講義概要:	インターネットを利用する際の情報モラル・セキュリティ知識を身につける。 Word・Excelの基本的な使用・操作方法を学ぶ。		
到達目標:	インターネットを利用する際の基本的な情報モラル・セキュリティが理解できる。 Wordを使用し、基本的なビジネス文書が作成できる。 Excelを使用し、簡単な表・グラフが作成できる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	コンピュータ・インターネット基礎		
2回目	情報モラル・セキュリティ		
3回目	Word基本操作1		
4回目	Word基本操作2		
5回目	Word基本操作3		
6回目	Word基本操作4		
7回目	Word基本操作5		
8回目	Excel基本操作1		
9回目	Excel基本操作2		
10回目	Excel基本操作3		
11回目	Excel基本操作4		
12回目	Excel基本操作5		
13回目	Excel基本操作6		
14回目	Excel基本操作7		
15回目	Excel基本操作8		
16回目	単位認定試験		
授業教材等:	30時間アカデミック 情報リテラシー Office2016		

講義名:	ヒューマンスキルプログラムⅠ	講義時間数: 30時間	受講コース名: 全コース
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	学科・コース合同授業 担当教員: 服部、小童、横田、後田、高橋、坂上、上村		
講義概要:	私たちにできる社会貢献活動とは?をテーマに地域における課題や問題点を見つけグループに分かれ活動を行う。最後にはプレゼン発表を行い、共有する。		
到達目標:	県内の企業や官庁が抱えている課題を知り、課題解決に向けて企業や官庁と協働しながら課題の解決や地域活性化を目指す。プロジェクト終了後、活動報告を学内で言い、自分以外のチームの取り組みからも学ぶ姿勢を養う。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	5/12(金)授業の目的(私たちにできる地域課題解決プロジェクト)の共有、メンバー分け		
2回目	5/19(金)チームに分かれて教室運営 行動計画表作成		
3回目	5/26(金)チーム単位で行動		
4回目	6/2(金)チーム単位で行動		
5回目	6/9(金)チーム単位で行動		
6回目	6/16(金)チーム単位で行動		
7回目	6/23(金)チーム単位で行動		
8回目	6/30(金)チーム単位で行動		
9回目	7/7(金)チーム単位で行動		
10回目	7/14(金)チーム単位で行動		
11回目	7/21(金)チーム単位で行動		
12回目	7/28(金)チーム単位で行動		
13回目	9/8(金)チーム単位で行動		
14回目	9/15(金)チーム単位で行動		
15回目	9/22(金)チーム単位で行動		
16回目	9/29(金)予備日として設定		
授業教材等:	筆記用具、プリント教材		

講義名:	一般知能実践(数的処理) I A①	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	横田 悟	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。 指示通りのやり方ができていなければ再提出の可能性あり。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「数的処理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、記述までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	対比 分野		
	割合・百分率 分野		
	仕事算 分野		
	食塩水 分野		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(判断推理) I A①	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。 指示通りのやり方ができていなければ再提出の可能性あり。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「判断推理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、記述までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	「対応関係」演習問題		
	「試合と勝敗」演習問題		
	「順位・順序」演習問題		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(政治経済)IA①	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2023年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。 指示通りのやり方ができていなければ再提出の可能性あり。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「政治経済」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、記述までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	政治経済の演習問題を1単元終了ごとに課題として課す。(4月~9月)		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	セルフマネジメント I A②	講義時間数: 72時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 4単位	学年: 1年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	試験対策 I A	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	10月の公務員試験に合わせて、前期に行ってきた(課題・数的・政経)の科目を行いながら模擬試験にも対応していく。面接試験に対して、面接カード作成、自己分析、模擬面接を行う。		
講義概要:	判断推理:4時間、数的処理:4時間、政治経済:4時間、模擬試験:3時間、面接対策:18時間		
到達目標:	それぞれの科目に対して演習の中で習熟度を図る。 面接カード作成、自己分析を行い面接試験への対策をとる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	判断推理、演習		
2回目	数的処理、演習		
3回目	政治経済、演習		
4回目	模擬試験対策		
5回目	面接対策		
6回目	判断推理、演習		
7回目	数的処理、演習		
8回目	政治経済、演習		
9回目	模擬試験対策		
10回目	面接対策		
11回目	判断推理、演習		
12回目	数的処理、演習		
13回目	政治経済、演習		
14回目	模擬試験対策		
15回目	面接対策		
16回目			
授業教材等:	筆記用具、プリント教材		

講義名:	検定対策 I A	講義時間数: 50時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 3単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	2023.12月上旬までにMOS検定に1度は受験した証明をもって単位認定とみなす。 →不合格の場合は2月下旬までに2回目を受験。年度内の学内受験をもって進級できるよう努める。		
講義概要:	卒業必須資格である、Microsoft Office Specialist Excel 2016、ビジネス能力検定ジョブパス3級、日本漢字能力検定3級の取得を目指す。		
到達目標:	Microsoft Office Specialist Excel 2016、ビジネス能力検定ジョブパス3級、ニュース時事能力検定3級、日本漢字能力検定3級を取得できるレベルの知識を身につける。また、知識を応用し日常生活で生かすことができるようになる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	検定対策(漢字検定)演習	17回目	検定対策(MOS)演習
2回目	検定対策(漢字検定)演習	18回目	検定対策(MOS)演習
3回目	検定対策(漢字検定)演習	19回目	検定対策(MOS)演習
4回目	検定対策(漢字検定)演習	20回目	検定対策(MOS)演習
5回目	検定対策(漢字検定)演習	21回目	検定対策(MOS)演習
6回目	検定対策(ビジネス能力検定)演習	22回目	検定対策(MOS)演習
7回目	検定対策(ビジネス能力検定)演習	23回目	検定対策(MOS)演習
8回目	検定対策(ビジネス能力検定)演習	24回目	検定対策(MOS)演習
9回目	検定対策(ビジネス能力検定)演習	25回目	検定対策(MOS)演習
10回目	検定対策(ビジネス能力検定)演習	26回目	
11回目	検定対策(ビジネス能力検定)演習	27回目	
12回目	検定対策(ビジネス能力検定)演習	28回目	
13回目	検定対策(MOS)演習	29回目	
14回目	検定対策(MOS)演習	30回目	
15回目	検定対策(MOS)演習	31回目	
16回目	検定対策(MOS)演習	32回目	
授業教材等:	MOS攻略問題集Excel2016、ビジネス能力検定ジョブパス3級公式試験問題集・公式テキスト、漢		

講義名:	自然科学 I A	講義時間数: 16時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。		
講義概要:	公務員試験で出題される自然系科目(生物・物理・科学・地学)について学ぶ。		
到達目標:	自然に属する諸々の対象を取り扱い、その法則性を明らかにするだけでなく、一般常識的な基礎知識を学ぶ。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	化学/モルトアボガドロ数:授業プリントによる講義・過去問演習		
2回目	化学/化学反応式:授業プリントによる講義・過去問演習		
3回目	化学/物質の構造:授業プリントによる講義・過去問演習		
4回目	地学/地球の構造:授業プリントによる講義・過去問演習		
5回目	物理/力と運動Ⅱ:授業プリントによる講義・過去問演習		
6回目	生物/植物の調節作用:授業プリントによる講義・過去問演習		
7回目	総復習プリント演習		
8回目	単位認定試験		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	人文科学 I A	講義時間数: 16時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:			
講義概要:	公務員試験で出題される人文系科目(日本史・世界史・地理)のうち、特に地理分野について講義形式と演習で学ぶ。		
到達目標:	①世界の自然地理や各国の基本情報を身に付け、公務員試験だけではなく、一般常識的な基礎知識を身に付ける。 ②暗記科目の対策を通じて、周囲とコミュニケーションを図り、コミュニケーション能力を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	地理分野:世界の地形(授業プリントによる講義)		
2回目	地理分野:世界の地形(授業プリントによる講義+演習問題の実践)		
3回目	地理分野:世界の気候(授業プリントによる講義)		
4回目	地理分野:世界の気候(授業プリントによる講義+演習問題の実践)		
5回目	地理分野:地図図法・世界の土壌(授業プリントによる講義)		
6回目	地理分野:地図図法・世界の土壌(授業プリントによる講義+演習問題の実践)		
7回目	地理分野:世界の貿易品目(授業プリントによる講義)		
8回目	単位認定試験		
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント、『オープンセサミシリーズ 世界史・日本史・地理』		

講義名:	判断推理 I A③	講義時間数: 36時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めれば いいかなどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュ ニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	道順(講義・演習)	17回目	単位認定試験 復習
2回目	道順(講義・演習)+確認テスト	18回目	単位認定試験
3回目	道順(講義・演習)	19回目	
4回目	道順(講義・演習)+確認テスト	20回目	
5回目	道順(講義・演習)	21回目	
6回目	道順(講義・演習)+確認テスト	22回目	
7回目	平面図形(講義・演習)	23回目	
8回目	平面図形(講義・演習)+確認テスト	24回目	
9回目	平面図形(講義・演習)	25回目	
10回目	平面図形(講義・演習)+確認テスト	26回目	
11回目	立体図形(講義・演習)	27回目	
12回目	立体図形(講義・演習)+確認テスト	28回目	
13回目	立体図形(講義・演習)	29回目	
14回目	立体図形(講義・演習)+確認テスト	30回目	
15回目	立体図形(講義・演習)	31回目	
16回目	立体図形(講義・演習)+確認テスト	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント、公務員ゼミナール(判断推理)		

講義名:	数的処理 I A③	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	横田 悟	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。		
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	前期の復習・総合回①		
2回目	前期の復習・総合回②		
3回目	場合の数		
4回目	場合の数		
5回目	場合の数		
6回目	確率		
7回目	確率		
8回目	確率		
9回目	場合の数・確率 演習		
10回目	場合の数・確率 演習		
11回目	場合の数・確率 演習		
12回目	場合の数・確率 演習		
13回目	整数・自然数		
14回目	整数・自然数		
15回目	総合回(単位認定予想問題等実施)		
16回目	単位認定試験		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	政治経済 I A③	講義時間数:	36時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	小童 望未	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 後期		
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目		
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:		
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)				
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。 授業時間内に確認テスト、放課後に再テスト、再々テストを実施。				
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングを行う。				
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに関する自らの意見を持つ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし、解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	地方自治①	17回目	復習		
2回目	地方自治②	18回目	第3回単位認定試験		
3回目	地方自治③	19回目			
4回目	地方自治④、確認テスト	20回目			
5回目	国民経済①	21回目			
6回目	国民経済②	22回目			
7回目	国民経済③	23回目			
8回目	国民経済④、確認テスト	24回目			
9回目	国際政治①	25回目			
10回目	国際政治②	26回目			
11回目	国際政治③	27回目			
12回目	国際政治④、確認テスト	28回目			
13回目	政治の諸問題①	29回目			
14回目	政治の諸問題②	30回目			
15回目	政治の諸問題③	31回目			
16回目	政治の諸問題④、確認テスト	32回目			
授業教材等:	オリジナルプリント、『オープンセサミシリーズ 公務員 政治・経済・社会』				

講義名:	業界研究 I A②/TKP I A②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志・安廣 啓示	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	フィールドワーク、官庁訪問など学外に出て活動あり TKP・・・外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	業界研究・・・希望する官庁、企業およびその業界について研究し、職業知識を深めると同時に自身の職業観、就職後のビジョンについて考える。 TKP・・・県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーする。		
到達目標:	業界研究・・・目指す業界、職業について正しい知識を身につけ、現状を理解したうえで自身のビジョンをもつ。業界の特性や求められる資質を理解することで、ミスマッチを減らす。 TKP・・・岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけでなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	前期発表を受けてPDCA	17回目	※TKP・・・岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリー 10月には第2回目の気球打ち上げ予定
2回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	18回目	
3回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	19回目	
4回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	20回目	
5回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	21回目	
6回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	22回目	
7回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	23回目	
8回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	24回目	
9回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	25回目	
10回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	26回目	
11回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	27回目	
12回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	28回目	
13回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	29回目	
14回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	30回目	
15回目	最終発表	31回目	
16回目		32回目	
授業教材等:			

講義名:	就職プログラム I A	講義時間数: 18時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志・小童 望未	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	合同企業説明会に行ったのち、報告書またはレポート提出を義務とする。		
講義概要:	民間の就職活動に必要な、業界研究や企業研究の方法、合同企業説明会などで見るべきポイントを指導し、3月から始まる民間企業の就職活に向けて下地を作る。		
到達目標:	自分自身でポイントを押さえた業界研究・企業研究を行うことができるようになる。 合同企業説明会に実際に参加し、興味のある業界や企業を見つけ、その企業の個別説明会などに参加できるようになる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	外部講話(これからの就職活動・今年度の就活動向について)		
2回目	民間就活のスケジュール確認および自己スケジュール作成		
3回目	業界研究・企業研究①		
4回目	業界研究・企業研究②		
5回目	業界研究・企業研究③		
6回目	合同企業説明会に向けての計画書作成(企業の下調べ)		
7回目	合同企業説明会への参加		
8回目	合同企業説明会後の報告書またはレポート作成		
9回目	就活サイト(リクナビ・マイナビ等)の利用方法レクチャー		
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	模擬試験 I A②	講義時間数: 21時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	後田 祥吾	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	日々学んだものを模擬試験を通して習熟度を確認。定期的に行うことで自分の成長度を図ることができ弱点克服にも活用することができる。(7月末には総合模擬試験を実施し、公務員試験を想定した内容で力を試す。)		
講義概要:	公務員試験の教養模擬試験(45問、100分、マークシート方式)および適性試験(120問、20分、マークシート方式)を行う。		
到達目標:	公務員試験受験に向けて実践的な訓練を積む。 学生が目標を持ち、計画的に目標達成する習慣を作るとともに復習を含めた学習習慣を作る。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	公務員試験教養模擬試験(45問100分、マークシート方式)		
	適性試験(120問20分、マークシート方式)		
授業教材等:	公務員試験過去問題集		

講義名:	一般知能実践(数的処理) I A②	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	横田 悟	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数がない場合は、単位を認めないこととする。 指示通りのやり方ができていなければ再提出の可能性あり。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「数的処理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、記述までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	場合の数・確率 分野		
	整数・自然数 分野		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(判断推理) I A②	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。 指示通りのやり方ができていなければ再提出の可能性あり。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「判断推理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、記述までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	「位置関係」演習問題		
	「命題」演習問題		
	「図形」演習問題		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(政治経済)IA②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2023年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。 指示通りのやり方ができていなければ再提出の可能性あり。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「政治経済」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、記述までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	政治経済の演習問題を1単元終了ごとに課題として課す。(10月~3月)		
授業教材等:	オリジナルプリント		